

## 野生動物リハビリテーター養成講座

NPO 法人 野鳥の病院

大阪府

第 3 回目となる野生動物リハビリテーター養成講座を滋賀県で開催すべく企画し、その資金として、幸い今年度はタカラハーモニーファンドからの助成金の支援が得られました。そこで滋賀県内で開催出来る場所を色々当たってみたところ、実習用の生体や死体を持ち込める場所となるとかなり制約をうけました。やっと湖北町にある県立湖北野鳥センターの全面協力を得る事が出来まして、共催という形式を取りました。ただ最寄りのJR北陸線河毛駅からのバスが一日に数本しか出なくてしかも予約制と不便さがあります。滋賀県獣医師会、日本野鳥の会滋賀支部、県内の動物看護養成期間にて広報をして頂いた。また湖北野鳥センターに広報用の印刷物をおいて、来館者に周知した。その結果10月初旬には予定の20名を超える23名の応募があった。その中で若手の獣医師の多数の参加意思の表明があつて心強く思った。というのも野生動物救護に関わる獣医師はその活動がすべて無償のボランティア活動であるので、最近では極端にその数を減じている。今回の広報内容は以下の通りです。NPO法人野鳥の病院では傷病野生動物の救護をあらゆる現場で対応できる人材を養成する講座をこの秋に滋賀県：湖北野鳥センターで開催します。野生動物救護に関心のある方の応募を期待しています。獣医師、動物看護師、看護学生、一般県民を対象に20名を募集します。全課程の受講料は2万円ですが、今年度はタカラハーモニーファンドからの助成金の支援が得られましたので無料です。昼食は各自ご用意下さい。この養成講座は日曜日を中心に月1回、計6講習会から成っています。最終試験に合格した全課程修了者にはNPO法人“野鳥の病院”から野生動物リハビリテーターの認定書を発行します。現在39名の方が活躍中です。

## 実施した野生動物リハビリテーター養成講座の内容

1回講習会：10月27日(日) 10時から16時まで 湖北野鳥センター

◎傷病野生鳥獣救護講習会 初級

講師：NPO野鳥の病院 獣医師・獣医学博士中津 賞

◎ 滋賀県における野生動物救護の現状

講師：滋賀県獣医師会 野生動物事業委員会委員長

あど動物病院院長 河南 明孝 獣医師

◎ 滋賀県で救護が予想される生息数の多い野生動物

講師：湖北野鳥センター鳥類専門員 植田 潤先生

午後：実習：野生動物の救護に必要な基礎知識、鳥種の鑑定、強制給餌法他

担当：野鳥の病院 動物看護師 加尾谷 禎氏、獣医師 中津 賞

◎実習風景



オオミズナギドリ(死体)での身体測定法実習

2回講習会：11月24日(日) 10時から16時まで 湖北野鳥センター

◎傷病野生鳥獣救護講習会 中級

◎滋賀県における野生動物救護と法律、救護体制の構築

講師：NPO野鳥の病院 獣医師・獣医学博士中津 賞

午後：実習：野生動物救護の要点と現場での救急対応について

鳥種の鑑別、食性の理解と病院食の選択、カテーテルによる強制給餌法

担当：野鳥の病院 動物看護師 山口 加世子氏、獣医師 中津 賞

◎ 実習風景



救護された野鳥のハイタカでの身体測定



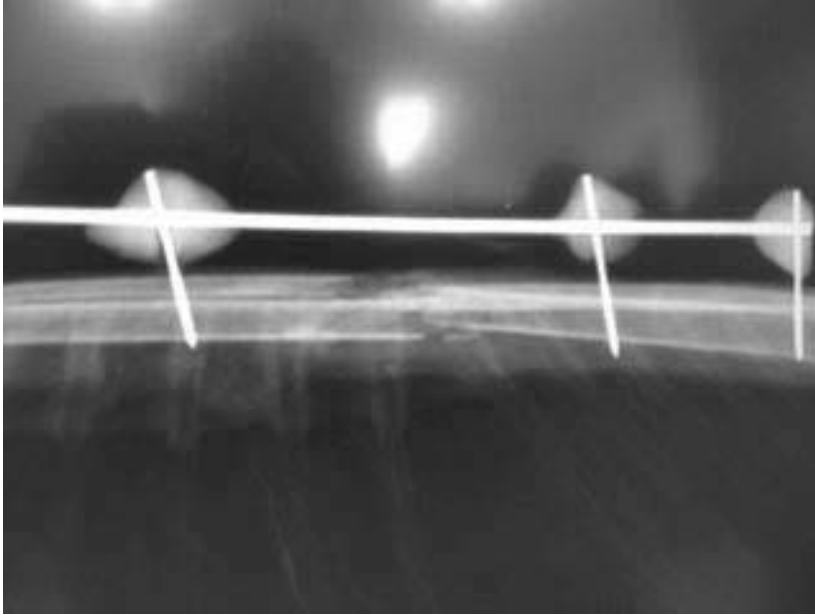
ハトでの身体測定



救護された野鳥のミゾゴイでの身体測定



上腕骨を骨折したチュウサギ



骨折の整復手術後のレントゲン写真



肩を損傷したアオバズク。8字包帯とbody wrapを併用

### 3回講習会：油等汚染水鳥救護技術講習会

12月14日(土) 13時から16時まで、湖北野鳥センター

講師；海上災害防止センター 防災部長 萩原 貴浩氏

萩原氏は油汚染事故現場での最高指揮官で、その下に警察，海上保安庁，消防関係者、県庁が組み込まれる。萩原氏は水鳥救護にも積極的に対応いただいている。



汚濁事故時の取り組みについての講演



会場に持ち込まれたオシドリの救護例



## 12月15日(日) 10時から16時まで、大阪ペイ動物看護専門学校

大量の温湯が必要なため、本施設に移動して実習を行った。本講習会内容は野生動物救護獣医師協会(WRV)規定単位を満たす油汚染事故現場リーダー養成講習会である(土/日の2日連続講座)。修了者は環境省油汚染水鳥救護ボランティア登録者として申請した。

◎琵琶湖で油汚染被害が予想される生息数の多い水鳥について

講師：野生動物救護獣医師協会事務局長 農学博士，理学博士 箕輪 多津男氏

◎油汚染水鳥の救護法について

講師：NPO野鳥の病院 獣医師・獣医学博士 中津 賞



油汚染羽毛と洗剤による洗浄効果のデモンストレーション



油汚染鳥を洗浄後のリハビリテーションタンクの組立実習



油汚染鳥の洗浄前身体検査



油汚染鳥への流動食、活性炭の投与





油汚染カモの洗浄中



油汚染カモ洗浄後の乾燥箱への収容

**4回講習会 1月26日13時から16時まで 湖北野鳥センター**

救護技術講義と実習 湖北野鳥センター

◎鳥の脱水症状と輸液法：皮下輸液と骨髄内点滴輸液、輸液剤の種類とその選択。水和状態の把握。 鳥の採血法と血液検査：採血の技術の習得と検査項目

血液所見の読み方：正常値と異常値、鳥で意味のない血液検査項目とは。

◎鳥インフルエンザ診断法：採材法と簡易診断キットの使い方

講師：NPO野鳥の病院 獣医師・獣医学博士 中津 賞

実習：採血法、骨髄内輸液法 上腕骨骨幹骨折時の整復手術法

実習担当：：野鳥の病院 茂木啓陽獣医師、 獣医師 中津 賞



ハトの翼の骨折の包帯法



8字包帯を施したカルガモ



全身麻酔と包帯による骨折固定をしているアオバズク

## 5回講習会 2月23日(日) 10時から16時 湖北野鳥センター

午前講義と午後実習

創傷管理と包帯法：血行阻害しない程度に緩いが確実な包帯法の習得

特に8字包帯法、尾翼の保護法、指間包帯法、Wing-Bodywrap法、Rober-Johnes骨折固定法、球状包帯法。

◎骨折の固定法：触診による骨折部位、骨折状況、周囲組織の破壊状況の把握、感染の有無。⇒翼の固定：8字包帯法+Bodywrap 脚の副木による固定

上腕骨骨折時の固定法と前腕骨尺骨の骨折の整形外科：IMピンと外部挿入ESFピンのTie-in法の要領。

ハト死体を使って、上腕骨にドリルで穿孔して骨髓内ピンの装着とESFピン2本の挿入、これらを互いにエポキシ樹脂で結合(Tie-in法)の習得

◎搬送法と搬送中の注意： 段ボール箱から大型鳥類を取り出す時の安全策

生体のトビを使って実際にやってもらった。

実習：各種包帯法、骨折の治療手術

野生動物リハビリテーター上野 剛文、

野鳥の病院 茂木啓陽獣医師、 獣医師 中津 賞



トリインフルエンザのウイルス検査



骨髓輸液法を行なっているダイサギ

**6回講習会** 3月30日 10時から16時：湖北野鳥センター

救護技術午前講義と午後実習

**獣医師対象に**

上腕骨、橈骨尺骨、その他の骨折の整形外科：ESFピンと骨髓内固定ピンのTie-inによる手術法：

脛足根骨、大腿骨骨折固定法：100以下の小型の鳥の骨折に適応するシアノアクリルレートによる固定法。

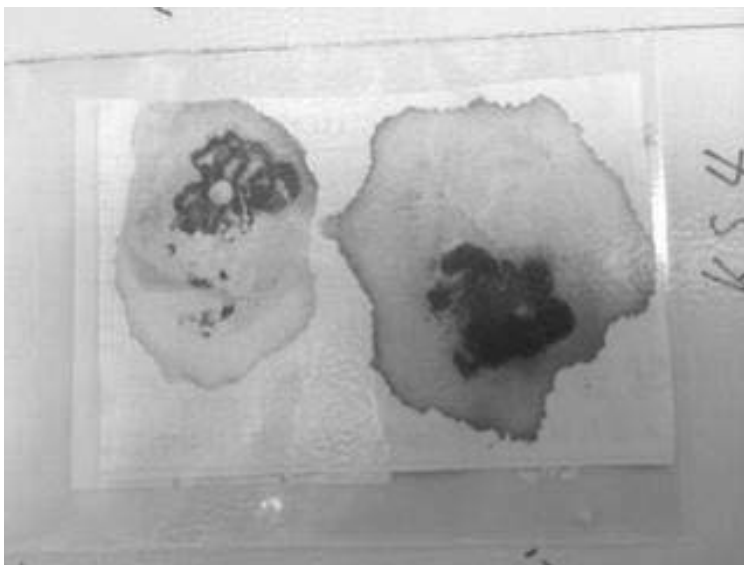
**動物看護師、一般県民対象に：**

創傷の管理、局所の洗浄法、消毒法 創面の手当法。

体各部の包帯法：前回の講習会の続きで、技術の習得の努める。



ハトでの上腕骨骨折の修復手術



鉛中毒のトリの糞と尿



6回の講習会すべてを受講した16名の受講者に対して当法人制定の所定の課程を修了したとして野生動物リハビリテーター認定証を手渡した。

この結果当法人が認定した野生動物リハビリテーターは今回の16名を加えると合計45名となった。認定者は大阪府，滋賀県，京都府，兵庫県に及び、野生動物担当の公的機関や、一般市民からの傷病野生鳥獣救護の要請があれば、派遣現場で直ちに的確な処置を施して、近在の指定救護動物病院に安全に搬送出来る等の技術を持っている。今後は更にリハビリテーターにの人数を増やすとともに、特定野鳥の救護グループ等を作って行きたい。

